



御前山青少年旅行村で消防訓練

10月14日行われたこの訓練は、いいこといっぱい体験隊（アイアイ体験隊）の活動と御前山防火クラブの訓練を兼ねたもので西消防署員も協力しました。

訓練では、西消防署員の指導のもと水消火器を使った消火訓練や飯ごうなどを使った炊き出し訓練が行われました。普段では使う機会がないものなので、体験隊の子供たちは熱心に訓練に取り組んでいました。全ての訓練終了後、実際に作ったおにぎりや豚汁、焼き芋、そしてさつまご飯などをみんなで美味しく食べました。



▲消火器の使い方を教わってさあ放水！



▲順番まだかな？



▲飯ごうでごはんを炊きました！

平成 29 年度常陸大宮市防災訓練

10月21日御前山小学校で実施しました。近隣住民や児童の避難訓練から始まり、消防と警察による倒壊車両および倒壊家屋からの救出など震災を想定した訓練をしました。会場内では炊き出しや各関係機関の車両展示など様々なブースが設置されてたくさんの人が参加しました。



第 1 回子どもメディカルラリー

10月22日東消防署で実施しました。午前中、事前講習としてメディカルラリーで行う応急処置を学びました。午後から各チームに分かれて、様々な応急手当を想定した3つのシナリオステーション、救助や放水を体験できる2つのサービスステーションを体験しました。

シナリオステーションでは、苦しんでいる人やケガをしている人をチーム内で助け合いながらいかに早く通報し、適切な処置ができるかを得点形式で競い合います。助けてくれるような大人の人がないという難しい状況の中で、何をすべきかを自分たちで考えて行動を起こしていく様子は、とても頼もしく感じました。一方のサービスステーションでは得点は関係なく、救助隊として煙が立ち込める暗闇の中から箱を探し出し、2階のマンホールから降下して脱出するブースと、消火器体験や実際に火災現場で使用するホースと筒先での放水体験ができるブースがあり、とても楽しそうに体験していました。

シナリオステーションで得点が高かったチーム

には賞状とトロフィーが授与されました。

国内では2ヶ所目で5回目として開催された子どもメディカルラリーは、大盛況のなか終了しました。



▲シナリオステーションの様子



▲特別チームのパラオ研修生と渡辺ヘルムート直道さん

消防本部鹿島副士長の寄稿を紹介します

世界警察消防競技大会 in ロサンゼルス

大盛況のなか大会が終了し、友人がいる LAFD（ロサンゼルス市消防局）の消防署で署内見学と訓練に参加しました。今回訪れた 63 分署は、ベニスビーチという大変有名な場所の近くにあり、はしご車 1 台、タンク車 1 台、ポンプ車 1 台、救急車 1 台の計 4 台を保有している消防署です。

アメリカの消火活動の特性から消防車両には 10 以上のはしごが積載されています。当本部のはしごは金属製を使用しているのですが、63 分署ではすべて木製を使用していることにとても驚きました。

車庫の真ん中にはポールがありました。LAFD の消防署では今でも出動時にポールを使用して階下へ降りるそうです。

その後、ファイヤーファイターサバイバル (FFS) という訓練に参加しました。

現場活動中に急激な爆発現象で受傷したり、何らかの原因で消防士が倒れてしまった等の危機的状況に陥った場合の脱出・救出方法のプログラムです。

目隠した状態でホースを伝って様々な障害を経て、脱出口を見つけてはしごから脱出する訓練や、同じような状況の下で要救助者を発見し搬送する訓練など様々な想定した訓練をしました。本格

的な設備で行ったので自分自身が危機的状況に陥る状況を理解し、その極度の緊張感の中で活動する貴重な訓練となりました。



▲車両の大きさと資機材の多さにびっくり



▲ 63 分署のポンプ車